


ま な び や

目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.38 2014年9月30日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: covenant-seminary@nifty.com

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。残暑を飛び越えて秋を迎えた、キンモクセイの香り漂う中目黒五丁目界隈。ヒガンバナをどこかに見つける余裕もないほど慌しかったな、と、筋雲の高い青空を見上げながら門を開けています。夕焼け朝焼けの茜（あかね）色もまさに秋。屋上で、見事なグラデーションをゆっくり楽しみたいものです。「私のたましいよ。目をさませ。十弦の琴よ、立琴よ。目をさませ。私は暁を呼びさましたい。」（詩57：8）

校長 関野祐二

● ジョガー現る

籠（こも）る人あれば走る人あり。授業を終えたある夜、閉門がてら近くにできたコインパーキングを偵察に行き、帰って来たら門に怪しい人影が。ドキッとして見ると、上から下までジョギング仕様のいでたちに身を包んだ寮生が、夜の街へと走り出すところでした。別の夜は、正門を閉めて裏門に行こうとしたら、アキレス腱を伸ばして準備運動に余念のない、別の寮生に遭遇。どちらも林試の森公園を一周してくるとのこと。往復歩いて公園内も徒歩で回り50分の距離ですが（最近イッテナイナ）、走れば30分でしょうか。みんな、ストレス解消か体力維持か、ちゃんと自己管理しているのですね。変装して（？）毎日街中をけっこうな距離走っている神学生もいるとのウワサ。朝4時に散歩に出る人もいるし（H教師は3時台だそうですよ）、みんな、やりますね！ 24時間をどう使うかは各々の課題ですが、無理のないようにしてください。こちらがばっちりキメてジョガーになったら、みんな卒倒すること請け合いですが、不整脈でひっくり返るのがオチですからやめておきます。なにせゴーゴーですから（意味ワカル？）。あれは8月19日の朝4時、夜明け前の東天に接近した金星と木星をパ〇〇マのまま飛び出し屋上で撮影。それはそれは美しい光景でした。籠る人は走るよりこんなスタイルが似合っているな、とは我が独り言。

● ミニマム夏期伝道、マキシマム祝福

今年もやるゾ、とぶち上げたのはいいけれど、参加者の応募が少なくヤキモキした夏期伝道。最終的には今年度入学の聴講生2名+引率教師の女性ミニマムチームとなりました。凝った集会企画は出来なくても、派遣される教会周辺へ徹底的にポスティングしよう、と意気込んで、配布用聖書やチラシを準備。3月に卒業したばかりのY I 牧師とK夫人（家族寮の名物夫婦でした）が、チームを歓迎する、夫人の手作り「ほうとう」や温泉も含めたプログラムを立ててくださいました。最終案を見たら、「朝4時起きで聖書とチラシ配布」。炎天下を避けての配慮とはいえ、引率のSu先生は起きられるのか！？ 本番がどんな様子だったのかは別刷り速報を見ていただくとして、迎えてくださった教会の皆さんがほんとうに喜んでくださり、祝福が後にまで継続し

たことだけ特記しておきましょう。9月29日夜チャペルでの報告会は都合で同席できなかったのですが、帰宅後に聞いた感想では、主が働かれ、祝福されたことがよくわかる印象的な報告だったとのこと。ミニマム（最小）が転じてマキシマム（最大）となる。ああやっぱりイエスさまらしい、からし種のごとき大逆転だな、と納得したのでした。これなら来年も怖いものなしですね。

● どうなる総会、こうなるオプション

日本福音主義神学校協議会総会、こんな長たらしい呼び名の会議がもう間もなく開催されます。北海道から沖縄まで、国内に散らばる20数校の福音主義に立つ神学校代表者が、年に一度集まって情報交換をしたいせつな機会。会場は持ちまわりで、なんと今年は聖契神学校なのです。自慢できるのはアクセスの良さくらいで（ぴっかぴかの防水も）、校舎の古さは文化財モノ、校内見学も15分で済むほど狭いのですが、明るさとおもてなしは天下一品と自負。実りある会議になってほしいと願います。初日の会議終了後、夜9時から屋上オプションをプログラムに入れてもらいました。上方系教師の面々はとにかく元気で声が大きいですから、近所迷惑にならないかちょっと心配。声も出ないほど見事な天体を見せればいいのですね。翌日の会議終了後は第二のオプションで、拙宅書斎自慢オーディオ音楽三昧です。そんな準備ばかりで肝心の会議は大丈夫なのか、事務方は気を揉んでいるようなないような。どこも例外なく課題の多い神学校運営ですから、こうした交流で信頼関係を強固にすることが、教会の祝福と福音化につながるのではないか、そんな屁理屈です。ところで皆さんは駅から迷わずに本校へたどり着けるでしょうかね。

● 後期は68名でスタート、そしてオープンキャンパスへ

へろへろの前期最終週を終え、神学生諸氏は一週間の学期休み。後半二日間は学生会リトリートで、当教団所有の赤城バイブルキャンプへ（なんと6月より説教B&敬虔主義のP教師夫妻が住み込んでいます）。「校長も望遠鏡持参でどうですか」と誘われているけど、仕事満載でちょっと無理。必修（必殺？）オプションで、P先生宅ストーブ用の薪割り作業があるはずですよ。

ところで、祈っていただいた後期からの新規聴講生は、感謝なことに5名が与えられました。諸事情で聴講を終了する方々との差し引きで、後期は2名増えた68名のスタート。4月からの新入生たちもすっかり慣れた（疲れた？）様子です。卒業を控えた方々はついに最終学期ですね。後期は10月13日（月）体育の日の夜から始まります（月曜祝日はほとんどが通常授業です）。

そして10月25日（土）は恒例献身者の集い、通称オープンキャンパスを行います。チャペルや公開授業は、神学校住み込みの校長&Y先生コンビで代わり映えしませんが、見学者を飽きさせない隠し玉（？）を用意するとかしないとか。大盛り上がりの学生会主催昼食会の後、午後は宣教学担当のC先生による特別講演会です。緻密な準備と流暢な日本語で定評ある先生ですから、日米の最新宣教学情報がたっぷり聞けること間違いなし。ぜひ午後からでもおいでください。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 後期から加えられる5名の聴講生を含む在校生68名の、後期学びが支えられるように。教師や神学校スタッフの健康、霊性、働きが守られるように。
- ・ 10月25日（土）の「献身者の集い・オープンキャンパス・公開授業」に多くの方々が来校し、神学校紹介と支援の拡大、将来の入学に向けた備えの機会となるように。

- 祈りと支援により本校の運営が支えられ、主にある献身者育成の使命を果たせるように。